

2021年度 独創的研究助成費 実績報告書

2022年 3月 22日

報告者	学科名 建築学科	職名 准教授	氏名 穂苅 耕介																																			
研究課題	吉備国城下町の都市パターンに関する研究																																					
研究組織	氏名	所属・職	専門分野	役割分担																																		
	代表 穂苅耕介	建築学科・准教授	都市工学	統括・とりまとめ																																		
	分担者 西川博美	建築学科・准教授	近代都市史	都市史料の分析																																		
研究実績の概要	<p>1. 研究の目的</p> <p>わが国の都市の多くは、近世城下町の都市プランを基礎として都市を構成している。城下町は、16世紀末から19世紀にかけて織豊期の城下町を再編した計画都市である。吉備国には、備中松山、津山、岡山、福山の4城下町が存在するが、都市プランの地域性については明らかになっていない。</p> <p>本研究の目的は、近世に成立した吉備国4城下町を対象として、藩政期の町割を復原の上、都市空間構成面から比較・検討しその特徴を明らかにすることである。</p> <p>2. 研究の方法</p> <p>まず、都市プランをよく知ることのできる既存の各種資料をもとに、吉備国4城下町の町割を復原する。具体的には、城下町都市が成立した藩政期の絵図（図1）等の史料（表1＝I.原図）に描かれた町割を、既存の研究資料等（表1＝III.参考資料）を参考に、現代の正確な地図：都市計画基本図（表1＝II.下図）上に復原する。次に、復原した各城下町を、都市空間構成面から比較・検討し、吉備国城下町に通底する都市プランの性格を考察する。</p>																																					
	<p>表1 城下町の都市プランの復原に用いた資料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>備中松山</th> <th>津山</th> <th>岡山</th> <th>福山</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I. 原図</td> <td>備中国松山城絵図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ</td> <td>美作国津山城絵図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ</td> <td>備前国岡山城絵図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ</td> <td>備後国福山城図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ</td> </tr> <tr> <td>II. 下図</td> <td>高梁市街地平面図 1/2500 平成28年(2016) 高梁市役所</td> <td>津山市都市計画図 1/10000 平成29年(2017) 津山市役所</td> <td>岡山市都市計画図 1/10000 令和2年(2020) 岡山市役所</td> <td>福山市都市計画図 1/10000 令和3年(2021) 福山市役所</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">III. 補助資料</td> <td>a. 迅速測図</td> <td>史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部</td> <td>史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部</td> <td>史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部</td> <td>史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">b. 参考図</td> <td>史料名 高梁『図説城下町都市』 発行年 平成27年(2015) 出所 鹿島出版会(p153)</td> <td>史料名 津山『図説城下町都市』 発行年 平成27年(2015) 出所 鹿島出版会(pp.144-145)</td> <td>史料名 岡山『図説城下町都市』 発行年 平成27年(2015) 出所 鹿島出版会(pp.150-151)</td> <td>史料名 水野勝茂城下ゆかりの地散策マップ 発行年 平成30年(2018) 出所 福山市教育委員会(p.6)</td> </tr> <tr> <td>史料名 高梁『中国・四国の市街古図』 発行年 昭和54年(1979) 出所 鹿島出版会(pp.35-37)</td> <td>史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部</td> <td>史料名 岡山『中国・四国の市街古図』 発行年 昭和54年(1979) 出所 鹿島出版会(pp.3-6)</td> <td>史料名 福山『中国・四国の市街古図』 発行年 昭和54年(1979) 出所 鹿島出版会(pp.37-40)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>史料名 備中松山城下図『荘直温伝』 発行年 令和2年(2020) 出所 吉備人出版(付録)</td> <td>史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部</td> <td>史料名 くらべてみよう江戸時代と現在のまち 発行年 2021 出所 企画展「岡山城歴史館」にて閲覧 岡山シティミュージアム</td> <td>史料名 水野勝茂城下ゆかりの地散策マップ 発行年 令和2年(2020) 出所 吉備史探訪の会</td> </tr> </tbody> </table>					備中松山	津山	岡山	福山	I. 原図	備中国松山城絵図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ	美作国津山城絵図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ	備前国岡山城絵図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ	備後国福山城図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ	II. 下図	高梁市街地平面図 1/2500 平成28年(2016) 高梁市役所	津山市都市計画図 1/10000 平成29年(2017) 津山市役所	岡山市都市計画図 1/10000 令和2年(2020) 岡山市役所	福山市都市計画図 1/10000 令和3年(2021) 福山市役所	III. 補助資料	a. 迅速測図	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部	b. 参考図	史料名 高梁『図説城下町都市』 発行年 平成27年(2015) 出所 鹿島出版会(p153)	史料名 津山『図説城下町都市』 発行年 平成27年(2015) 出所 鹿島出版会(pp.144-145)	史料名 岡山『図説城下町都市』 発行年 平成27年(2015) 出所 鹿島出版会(pp.150-151)	史料名 水野勝茂城下ゆかりの地散策マップ 発行年 平成30年(2018) 出所 福山市教育委員会(p.6)	史料名 高梁『中国・四国の市街古図』 発行年 昭和54年(1979) 出所 鹿島出版会(pp.35-37)	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部	史料名 岡山『中国・四国の市街古図』 発行年 昭和54年(1979) 出所 鹿島出版会(pp.3-6)	史料名 福山『中国・四国の市街古図』 発行年 昭和54年(1979) 出所 鹿島出版会(pp.37-40)		史料名 備中松山城下図『荘直温伝』 発行年 令和2年(2020) 出所 吉備人出版(付録)	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部	史料名 くらべてみよう江戸時代と現在のまち 発行年 2021 出所 企画展「岡山城歴史館」にて閲覧 岡山シティミュージアム
	備中松山	津山	岡山	福山																																		
I. 原図	備中国松山城絵図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ	美作国津山城絵図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ	備前国岡山城絵図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ	備後国福山城図 正保元年(1644) 国立公文書館デジタルアーカイブ																																		
II. 下図	高梁市街地平面図 1/2500 平成28年(2016) 高梁市役所	津山市都市計画図 1/10000 平成29年(2017) 津山市役所	岡山市都市計画図 1/10000 令和2年(2020) 岡山市役所	福山市都市計画図 1/10000 令和3年(2021) 福山市役所																																		
III. 補助資料	a. 迅速測図	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部																																	
	b. 参考図	史料名 高梁『図説城下町都市』 発行年 平成27年(2015) 出所 鹿島出版会(p153)	史料名 津山『図説城下町都市』 発行年 平成27年(2015) 出所 鹿島出版会(pp.144-145)	史料名 岡山『図説城下町都市』 発行年 平成27年(2015) 出所 鹿島出版会(pp.150-151)	史料名 水野勝茂城下ゆかりの地散策マップ 発行年 平成30年(2018) 出所 福山市教育委員会(p.6)																																	
		史料名 高梁『中国・四国の市街古図』 発行年 昭和54年(1979) 出所 鹿島出版会(pp.35-37)	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部	史料名 岡山『中国・四国の市街古図』 発行年 昭和54年(1979) 出所 鹿島出版会(pp.3-6)	史料名 福山『中国・四国の市街古図』 発行年 昭和54年(1979) 出所 鹿島出版会(pp.37-40)																																	
	史料名 備中松山城下図『荘直温伝』 発行年 令和2年(2020) 出所 吉備人出版(付録)	史料名 五万分一地形図 発行年 明治34年(1901) 出所 大日本帝國陸地測量部	史料名 くらべてみよう江戸時代と現在のまち 発行年 2021 出所 企画展「岡山城歴史館」にて閲覧 岡山シティミュージアム	史料名 水野勝茂城下ゆかりの地散策マップ 発行年 令和2年(2020) 出所 吉備史探訪の会																																		

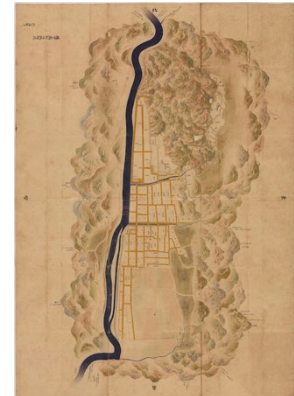


図1 備中松山城絵図 1644
(出所：国立公文書館)

3. 吉備国城下町の町割の復原

図2は、デジタルツールを用いて吉備国4城下町の正保期の町割を、各都市の最新の都市計画基本図上に復原したものである。城下町を構成する城郭、町地、武家地、社寺地の位置と範囲、街道、地形、自然環境の利用などに留意し、絵図上で抽象的あるいは不明瞭に描かれているものについては、既存の研究資料などを参考にした。

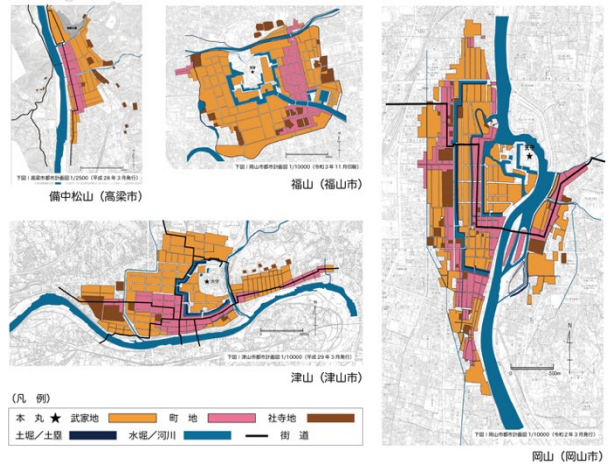


図2 復原した吉備国4城下町の町割

4. 分析結果

その上で、復原した都市プランを都市空間構成面から比較検討を行った(表2)。ここから、「城郭の向き」、「環濠・土居」、「城下町に占める町地の割合」に共通点があること。また、山地側(備中松山・津山)と瀬戸内海側(岡山・福山)とで「地形」や「町の構成」が分かれること。さらに、備中松山をのぞく津山・岡山・福山の「町地のパターン」、「街路パターン」、「成立類型」などには、経済的地域中心地としての側面を見出せることを確認した。

表2 吉備国4城下町の都市空間構成の比較表

		備中松山	津山	岡山	福山
藩主と石高	成立時	慶長19年(1614) 小堀遠州守政一 石高 1.45万石	慶長8年(1603) 森忠政 18.6万石	天正年間 宇喜多直家/秀家 57.4万石	元和5年(1619) 水野勝成 10万石
	復原期	正保元年(1644) 水谷勝隆 石高 5万石	正保元年(1644) 森長継 18.6万石	正保元年(1644) 池田光政 31.5万石	正保元年(1644) 水野勝俊 10万石
	(1) 地形	河岸段丘上	河岸段丘上	河口のデルタ	河口のデルタ
城下町の空間構成	(2) 街道との関係	通過	通過	通過	近接
	町家の構成	町家郭外型	町家郭外型	内町外町型	内町外町型
	町地のパターン	整町型	横町型	横町型	横町型
	町口の数	3	6	5	3
	町地の面積 a	11.15ha	34.41ha	61.64ha	25.18ha
	武家地の面積 b	27.63ha	85.45ha	161.95ha	90.91ha
	a/a+b×100	28.7%	28.7%	27.6%	21.7%
	(4) 環濠・土居	川	川	川	海・川
(5) 城郭の向き	南面	南面	南面	南面	
(6) 社寺の数	約20カ所	約26カ所	約21カ所	約22カ所	
(7) 街路パターン	一輪型	グリッド型	グリッド型	グリッド型	
(8) 成立類型	山城・山裾型	平山城・丘陵型	平山城・丘陵型	平山城・臨海型	
凡例:		2都市が一致	3都市が一致	4都市が一致	

研究実績
の概要

成果資料目録

なし(成果の一部を日本都市計画学会「都市計画報告集」に投稿予定)